

令和3年度 産業経済部長「政策宣言」中間報告

産業経済部長 宮本 康博

○ 令和3年度重要事業

事業名	中小企業等への支援の充実
目標	新型コロナウイルス感染症の長期化の影響により経営に多大な影響を受けている中小企業や小規模事業者に対する支援の充実を図ります。
進捗状況	県の時短要請に協力した事業者や協力店舗の関連事業者に対する支援制度を創設したほか、商工団体が行う消費喚起事業に対する支援を行うなど、事業者支援や地域経済の活性化に取り組みました。
今後の対応	地域経済の状況や国、県の施策の動向も注視しながら、適時適切な支援を行います。

事業名	賑わいの創出と港湾機能の向上
目標	射水市観光交流センター(クロスベイ新湊)を観光の拠点とし、内川を含むベイエリアをはじめ市内全域的な賑わい創出に取り組んでまいります。また、港湾施設の整備を促進し機能向上を図ります。
進捗状況	クロスベイ新湊において、イナガキヤスト写真展や開館1周年記念事業等を開催し、内川の美しい景観や新湊曳山の魅力を発信しました。また、港湾施設の整備促進については、中央ふ頭の改修事業が順調に進捗しています。
今後の対応	引き続き、関係団体と連携し、クロスベイ新湊を中心とした、観光客への情報発信の充実に努めます。また、港湾施設の整備促進について、機会を捉え、国、県に働きかけます。

事業名	農林水産業の効率化の推進
目標	ICT等を活用したスマート農林水産業による省力化を進めます。また、担い手への集積率が高い本市の強みを生かした「ほ場の大区画化」を推進し、農業の効率化による持続的な発展を図ります。
進捗状況	イノシシ捕獲檻における情報通知装置や海上におけるICTブイの設置等、遠隔地から現地の状況を把握する実証実験を開始しました。また、ほ場の大区画化について、1地区で事業に着手したほか、新たに4地区の事前調査の実施について関係機関に働き掛けを行いました。
今後の対応	ICT等活用については、実証実験により機器の耐久性や費用対効果等を分析し、実用化にむけ有効性の確認に努めます。 ほ場の大区画化については、事業の早期完了、早期実現に向けて、引き続き関係各機関へ働き掛けを行います。